

あさひ議会だより

24号
平成24年
3月1日
発行



おもな内容

議案の内容と審査結果	2
主な議案質疑	3
第4回定例会の日程	3
請願・陳情の審査結果	3
一般質問	4~7
常任委員会の審査	8
各委員会の構成	9
行政視察報告	10・11
議長のうごき	12

「津波を乗り越え復興への道」をスローガンに行われた
第23回旭市飯岡しおさいマラソン大会

補正予算、条例の一部改正など 5議案を可決・同意

第4回定例会のあらまし

平成23年第4回定例会が、11月28日から12月13日までの16日間の会期で開かれました。
この定例会には、平成23年度一般会計補正予算、病院事業会計補正予算、条例の一部改正など5議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。
12月2・5日には、一般質問が行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。
最終日の13日には、委員会から1件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

補正予算

■議案第1号

平成23年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ4億2,200万円を追加し、予算の総額を326億1,000万円とするものです。

歳入の主な内容は、地方交付税に1億4,736万3,000円、国庫支出金に8億2,019万4,000円、県支出金に

6,130万5,000円を追加し、市債を6億1,120万円減額するものです。

歳入の主な内容は、衛生費に3億5,765万6,000円、災害復旧費に6,945万8,000円、農林水産業費に1,543万1,000円を追加し、

議会費を404万2,000円、消防費を1,597万6,000円、教育費を1,275万9,000円減額するものです。

■議案第2号

平成23年度旭市病院事業会計補

正予算の議決について (可決)

収益的収入の病院事業収益に4億円を追加し、354億8,611万4,000円とし、支

出については、病院事業費用に3億6,909万8,000円を追加し、353億3,383万

5,000円とするものです。

条例の一部改正

■議案第3号

旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について (可決)

人事院勧告及び千葉県人事委

人事

■議案第4号・議案第5号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (同意)

(同意)

現委員のうち平成24年3月31日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣

員会勧告の趣旨に基づき、所要の改正を行うものです。

に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

再任 吉野 直子 氏(足川)
再任 宮野 作一 氏(琴田)

委員会提出議案

■発議第1号

株式会社エコテック産業廃棄物最終処分場設置反対を求める意見書の提出について (可決)



第4回定例会の日程

11月28日(月) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明

11月30日(水)

- 議案の質疑
- ◇ 追加日程 <討論・採決>
- 常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

12月2日(金)

- 市政に関する一般質問

12月5日(月)

- 市政に関する一般質問

12月7日(水)

- 建設経済常任委員会

12月8日(木)

- 文教福祉常任委員会

12月9日(金)

- 総務常任委員会

12月13日(火)

- 常任委員長の議案・請願・陳情報告 <質疑・討論・採決>

◇ 追加日程

- 発議案の上程
 - 提案理由の説明 <質疑・討論・採決>
 - 事務報告
- (閉会)

主な議案質疑

■ 議案第1号

Q 子宮頸がんワクチン接種費用助成金について、当初予算で2,205万円、補正予算で1,609万5,000円と、当初予算に匹敵するような金額の補正となっているが、希望者が増えたのか、対象者の年齢幅を広げたのか。

また、現在の対象年齢と1人当たりの助成額は、近隣の銚子市、香取市、匝瑳市の対象年齢及び助成額はどのようになっているのか。

A 当初予算では、対象人数1,302人、接種率を35%、490人、延べ1,470回を見込みましたが、接種希望者が多く、接種率を約80%、

1,060人、延べ2,543回と見込み、増額補正するものです。

接種については、中学1年生から高校1年生までを対象に、1人3回の接種で1回当たり1万5,000円の助成をしており、対象者、金額等については当初と変更はありません。

近隣3市の状況ですが、銚子市、香取市の対象者は中学1年生から高校1年生までで、助成額は1万5,000円。匝瑳市の対象者は中学1年生から高校2年生までで、助成額は同額の1万5,000円となっています。

■ 議案第2号

Q 外来収益4億円の補正について、化学療法とはど

のような診療か。また今までは行っていないかったのか。

なお、化学療法センターは、いつどこに開設したのか。

A 化学療法は抗がん剤を用いたがん治療のことで、以



旭中央病院の化学療法センター

前は入院での対応となっていました。薬品の進歩により、現在は外来での化学療法が主流になっています。

化学療法センターは抗がん剤治療対象患者の増加に伴い、新本館3階の西側に設置しました。これにより、従来27ベッドを40ベッドに増床しています。

Q 化学療法は、診療収入に対して医薬品の割合が高いと思うが、特別な薬品を使うのか。

また、この診療を行うスタッフはどのような資格を持っているのか。現在のスタッフ数と、一カ月あたりの患者数は、

A 薬品として使用される抗がん剤は新薬が多く、薬価も高額となるケースが多くなっています。

現在スタッフは医師1人、看護師8人、薬剤師4人、事務1人となっています。

なお、薬剤師と看護師については、専門の講習を受けた者が対応しています。

患者数については、1カ月当

たり約730人で、1年前は、月約500人でした。1年前と比べると約230人増加しています。

請願・陳情の審査結果

第4回定例会では、請願2件と陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第4号	学校図書館の充実を求める請願	採 択
請願第5号	株式会社エコテック産業廃棄物最終処分場設置反対を求める請願	採 択
陳情第5号	保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情	不採択

一般質問

市政に関する一般質問は12月2日・5日に行われ、9人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

行政改革

課の増設はなぜか

Q 一般的概念では、仕事を効率よくするためには、

命令系統を少なくします。組織の統廃合をすることが一番ですが、行革に逆行するような課の増設はなぜか、お尋ねします。

A 第2次旭市行政改革アクションプランを策定した

中で、変化に対応できる組織・機構への再編を図るため、平成22年4月1日付で行政改革推進課と子育て支援課を、また平成23年6月に、教育委員会生涯学習課の体育振興班と総合体育館を併合し、体育振興課を新設しました。

これは市民のニーズに的確、迅速に応え、効率的な行政運営を行うことを目的としています。また、社会要求に即した政策を進めたいという意思の表れです。結果として課の数が増えましたが、定員適正化計画に基づき合併から今日までに96人の人員を削減して業務に当たっています。今後もサービスの質を低下させ

ることなく、適正な人員配置を図り、組織・機構の再編に取り組みたいと考えています。

行政

職員の有給休暇取得日数は

Q 平成18年度から22年度までの5年間で、本庁と中央病院職員の平均有給休暇取得日数をお示し願います。

A 本庁は平成18年6・9日、平成19年7・4日、平成20年7・5日、平成21年7・5日、平成22年7・6日となっています。

中央病院は平成18年度3・1日、19年度3・7日、20年度4・8日、21年度4・4日、22年度4・3日となっています。

2次合併は考えているのか

Q 2次合併について、今後どのように進めていくのか伺います。

A 市としては、近隣市町との合併を現時点では考え

ていません。

道路の補強工事は

Q 個人の家の液状化は個人で補強しているが、公共の土地、道路はどのように補強工事がされているのか。

A 道路に関しては60カ所ほどあり、すべてに補強工事を行うことは不可能です。とありあえず現況のまま、原状に復する工事を早期に進めています。海上野球場や飯岡野球場の液状化や地割れの復旧工事は、現在、災害廃棄物の仮置き場指定されており、この処理が完了次第、実施することになっています。



液状化による市道の復旧工事

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



大塚 祐司
議員

- 1 道の駅について
- 2 職員の有給休暇取得日数について
- 3 千葉県市町村総合事務組合について
- 4 中央病院について
- 5 市長の政治姿勢について



伊藤 保
議員

- 1 ブックスタート事業について
- 2 生活環境について
- 3 防災について
- 4 高齢者の肺炎予防について

放射線測定器購入の国からの支援は

Q 自治体が、食品の放射線を測定する機器の購入で活用できる地方消費者行政活性化交付金について、説明をお願いします。

A 対象事業に商品テストの強化事業というメニューがあります。消費者センターが消費者から寄せられた製品関連事故に関する原因究明、品質性の検査などの依頼に対応でき、機能を強化するための事業です。このことから今回の放射線測定器の購入に関しても、この交付金が使えるのではないかと考えています。

土地開発公社

公社の今後のあり方は

Q 土地開発公社は、道路などの公共工事を効率よくスムーズに行うために設立されました。公社の今後のあり方について、具体的な考えをお尋ねします。

A 平成23年度当初予算においても、公社独自の事業計画、市からの受託業務もなく、保有地の維持管理を主体とした予算となっています。

そのため総合的に判断すると、公社の設置目的は薄れた感が否めないと思われます。将来的には、解散を視野に入れた検討をしていきたいと思っています。

千葉県市町村総合事務組合

退職手当負担金と退職手当の差額は

Q 本庁と中央病院の加入以来支払った退職手当負担金の総額と職員が受け取った退職手当の総額、またその差額についてお示し願います。

A 本庁分は、退職手当負担金148億2,488万9,288円、受け取った退職手当175億1,608万3,483円で、受け取った退職手当のほうが多く、その差は26億9,119万4,195円です。中央病院分は、退職手当負担金175億3,853万3,211

円、受け取った退職手当79億3,998万1,985円で、支払った負担金のほうが多く、その差は95億9,854万8,336円です。

防犯

防犯グッズ作成に配慮を

Q 防犯対策とは、市民自ら防犯への自覚と努力が肝心です。それに対して情報と防犯グッズの提供は市の役割であると考えます。

今後、防犯グッズを作成する際には、市内のパトロール隊の

要望に、もう少し配慮できないか。

A 防犯対策に係る啓発物資等の作成は、その時々々の犯罪状況を勘案して、犯罪抑止のためにグッズを作成しています。これからは、市内パトロール隊からの要望等を、十分考慮して作成していきたいと考えています。

教育

ブックスタート事業の内容は

Q ブックスタート事業とはどのようなものか、分か



旭市エンジョイパトロール隊などによる防犯パトロール



滑川 公英
議員

- 1 「心をひとつに 旭市復興計画骨子」の内容について、裏づける予算規模は
- 2 行政改革の推進について
- 3 中央病院の利益剰余金について



高橋 利彦
議員

- 1 旭市土地開発公社について
- 2 旭中央病院の院外薬局について
- 3 旭中央病院について
- 4 職員採用について
- 5 市職員を派遣している団体について
- 6 行財政改革について



宮澤 芳雄
議員

- 1 防犯対策について
- 2 行政改革アクションプランについて
- 3 市民体育祭について

りやすく説明をお願いします。

A 当事業は、乳児とその保護者に絵本を配布し、読み聞かせを行うことによって、親子がふれあい、乳児の心と言葉の発達を促し、乳児の健やかな成長を支援するものです。

実施している団体では、市町村で購入した絵本を、4カ月健診時などで配布し、その場で保護者に読み聞かせの指導を行っています。

給食食材の放射能検査は

Q 子どもたちの内部被ばくの心配を払拭するために、給食食材の放射能検査を市で実



安心・安全な給食調理を行う第一学校給食センター

施できないか。

A 子どもたちに安心、安全な給食を提供することを第一に考えており、測定器の購入を考えています。

また、その測定器の活用等については、教育委員会だけではなく、関係各課と相談をしながら、今後、考えていきたいと思っています。

定期健康診断を増やせないか

Q 定期健康診断を年に一度行っていますが、放射能の問題などもあるので、中央病院に協力していただき、定期的に二、三度実施し、早期発見、早期治療はできないか。

A 学校における定期健康診断は、学校保健安全法第13条に規定されており、また必要な検査項目等は、学校保健安全法施行規則に示されています。なお、期間も施行規則に「6月30日までにを行うものとする」と明記されています。また、臨時の健康診断も、感染症あるいは食中毒等が発生した場合に必要な項目について行う旨が規定されています。

したがって、現状では放射能に関しての規定はないこと、また、学校現場の状況を考えても回数を増やすことは難しいと思います。

環境

側溝の清掃は

Q 側溝の清掃について、どのように行っているのか。

A 生活排水が流入している部分は、地元の方々に泥上げ等を実施していただき、上げられた汚泥を作業員や業者委託により回収しています。回収した汚泥は、産業廃棄物として専門の処理場に搬入し、適正に処理を行っています。

市民体育祭

観客席を活用しては

Q 市民体育祭に参加した各区役員の皆さんから遠くで見えないという意見がありました。観客席から見たら盛り上がると思うが、制約があるのか、

お尋ねします。



東総運動場観客席

A 観客席は2,800席あり、制約はないと思います。

中央病院

剰余金の活用方法は

Q 中央病院は平成22年度決算において、単年度で16億円強の利益が計上されました。内部留保または再投資に充てると思うが、中央病院に行くと半日以上がつぶれる、予約診療が当てにならないという苦情をたくさん耳にします。病院としては、どのように改善していく



島田 和雄 議員

- 1 津波避難訓練後の課題について
- 2 TPPについて
- 3 飼料用米について
- 4 学校給食食材の放射能検査について
- 5 雇用促進住宅の入居対策について



木内 欽市 議員

- 1 農業問題について
- 2 第2次合併について
- 3 近隣市町との連携について



伊藤 房代 議員

- 1 復興支援について
- 2 農畜産物の改良、技術支援について
- 3 高齢者福祉について
- 4 子供の体力づくりについて



解体工事が進む旧病棟

のか。

A 剰余金については、投資に使っていきたくないと考えています。この投資は、今後も地域医療を継続していく上で必要な医療機器の購入、また優秀な医師や看護師等にとって、魅力ある病院づくりのため、重要であると認識しています。

また、待ち時間の短縮も、重要な問題と認識しています。待ち時間は、診療・会計・薬と大きく三つあります。新棟建設に併せて、再来受付機や自動精算機の導入を行い、待ち時間の短縮を図ろうとしています。また、薬剤部の業務見直し等により、調剤担当者の増員等を図り、調

剤時間の短縮に努めています。

なお、診療時間の短縮については、患者の一極集中という問題もあり、医師の増員や医療連携を現在も進めています。

今後も待ち時間の短縮やサービスの向上に努めたいと考えています。

薬剤費の増加による影響は

Q 国の医療費全体の伸びは、2000年から2009

年の間に2割程度であるにもかかわらず、薬剤費は8割も増加しています。金額にして11・7兆円にもなっており、異常な伸びを示しています。このことが中央病院の場合、どのように表れているのか。

A 薬剤費については、まさにそのとおりで、この数年

来、あるいは10年来の長い目で見ると病院等にはほとんど利益が回ってきません。メーカーは何十%の単位で利益を上げています。問屋は1%以下、病院はマイナスが多く、辛うじて0・何%です。今度の診療報酬改定でやっと息をついているという状態であり、メーカーのひ

とり勝ちという状況です。

農業

飼料用米の不正規流通への対策は

Q 飼料用米の制度は、水田の有効利用、また食糧自

給率向上の観点から国民の合意を得て、よい制度と考えています。

しかし、食用米と飼料用米が同じ形態で流通しており、食用に転用される危険性があります。食用米と飼料用米を分別するための対策が必要と思うが、市の考えは。

A 取り扱いを注意しないと、大変なことになることは十分理解しています。

特に食用品種を作った方々等の不正規流通については、万全を期しています。内容的には、飼料用米として、食用品種で10アール当たり9・4俵、専用品種で12・5俵の出荷を約束していただき、これを下回った場合は理由を聞くなど、戸別的に指導しています。

また、畜産農家へも国の職員

が定期的に回って、戸別指導をしており、今後とも不正規流通がないように指導を徹底したいと考えています。

農業に対する補助を

Q 旭市の基幹産業は農業です。TPPの問題で、市として独自の支援策を考えられないか。

A 旭市は施設園芸の規模拡大、リフォームに県単独の補助事業を活用しています。来年度は市の上乗せも含めて実施したいと考えています。また、ブランド化事業でも支



干潟八万石での稲刈り



太田 将範
議員

- 1 放射能測定器の購入について
 - 2 3種ワクチン助成の継続について
 - 3 住宅リフォーム助成について
 - 4 医療費の高騰について
 - 5 国民健康保険について
- 援を考え、農業の現場を一生懸命支えていきたいと考えています。

建設経済常任委員会

12月7日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「農林水産業費の園芸生産利用拡大支援事業補助金266万9,000円について、総事業費はいくらになるのか。」との質疑があり、「全体の事業費は、533万8,520円で、2分の1が今回の補助金である。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、勝浦市商工会で地域の活性化について、意見交換会を行いました。なお、商工会青年部は、勝浦タンタンメンで、B1グランプリ7位入賞を果たしました。



文教福祉常任委員会

12月8日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された2議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第2号平成23年度旭市病院事業会計補正予算の議決についての審査では、特に質疑等はなく、審査の結果、2議案とも全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、請願第4号学校図書館の充実を求める請願について、請願第5号株式会社エコテック産業廃棄物最終処分場設置反対を求める請願についての審査では、特に意見等はなく、請願2件とも、全員賛成で採択と決しました。

続いて陳情第5号、保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情についての審査では、「国民健康保険事業会計がひっ迫している中、旭市では、歯科医療に対する診療については、今のところ特に問題はないと思われるので、本件については賛成できない。」との意見が出され、全員賛成で不採択と決しました。

委員会の審査終了後、施設改修を行ったおうめい保育園の施設及び入所状況について視察しました。



総務常任委員会

12月9日(金)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「防災行政無線戸別受信機の外部アンテナ取り付け件数と屋外受信局の増設についての考えは。」との質疑では、「毎年50件ほどの予算を計上しているが、震災の影響で、今年度は147件の申し込みがあった。屋外受信局の増設については、受信状況等も調査した中で増設することも検討していきたい。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、つくば市の国土地理院でスリップ現象と地震発生の関係について、研修を行いました。

国土地理院の電子基準点観測データに、房総半島で平成23年10月下旬以降、通常とは異なる地殻変動が検出されました。地震の前兆と騒がれましたが、12月には地殻変動が収束したとのことです。



常任委員会等の 構成委員が 替わりました

議会に常設されている委員会で、条例や予算などの議案や請願・陳情の審査を行います。旭市議会には、3常任委員会があり、委員の任期は2年です。

また、議会運営委員会と議会だより編集委員会の構成委員も替わりました。

文教福祉常任委員会

環境課・保険年金課・健康管理課・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・教育委員会・総合病院国保旭中央病院の所管に関する事項について審議を行う委員会です。

委員長	景山岩三郎	委員	林 俊介
副委員長	伊藤 房代	委員	佐久間茂樹
委員	林 一哉	委員	向後 悦世
委員	林 正一郎	委員	島田 和雄



議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則・委員会条例等や議長の諮問に関する事項などについて協議を行う委員会です。

議会運営委員は、総務・文教福祉・建設経済常任委員会から2名ずつ選出されます。

委員長	佐久間茂樹	委員	景山岩三郎
副委員長	柴田 徹也	委員	林 七巳
委員	木内 欽市	委員	平野 忠作



総務常任委員会

秘書広報課・行政改革推進課・総務課・企画政策課・財政課・税務課・市民生活課・会計課・議会事務局・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会・消防本部・支所の所管に関する事項・他の委員会の所管しない事項について審議を行う委員会です。

委員長	木内 欽市	委員	太田 将範
副委員長	伊藤 保	委員	飯嶋 正利
委員	高橋 利彦	委員	大塚 祐司
委員	柴田 徹也		



建設経済常任委員会

商工観光課・農水産課・建設課・都市整備課・下水道課・農業委員会・水道課・国民宿舎の所管に関する事項について審議を行う委員会です。

委員長	平野 忠作	委員	嶋田 哲純
副委員長	宮澤 芳雄	委員	滑川 公英
委員	嶋田 茂樹	委員	林 七巳
委員	日下 昭治		



議会だより編集委員会

議会だより発行に関する企画および編集を行う委員会です。

議会だより編集委員は、総務・文教福祉・建設経済常任委員会及び議会運営委員会から1名ずつ選出されます。

委員長	島田 和雄	委員	柴田 徹也
副委員長	宮澤 芳雄	委員	飯嶋 正利

※委員の写真は、最終ページに掲載

22,200kw、太陽光発電については、葛巻中学校と介護老人保健福祉施設で総出力70kw、また家畜の糞尿を利用したバイオマスプロジェクト、間伐材を利用した木質バイオマス利活用により、各種施設の暖房、給湯を行っています。

また、森林の保全と資源循環に関する事業にも力を入れ、個人や企業から寄附をいただき、ふるさとの森づくり事業等を実施しています。このような各種施策により、町の財産をうまく活用し、自然環境を守り伝えているように見受けられました。

最終日の28日には、東日本大震災で甚大な被害を受けた釜石市を視察しました。

最初に釜石港を視察。岸壁に打ち上げられた大型の貨物船が有名ですが、すでに港に下ろされ、現在、修理を行っていました。岸壁等は地盤沈下がひどく、満潮時には海水が地上にあふれ、港周辺では冠水に悩まされていました。また、車での移動中、市役所担当者の説明を聞きながら市内を見ると想像を絶する光景で言葉がありませんでした。

また、沿岸部にある釜石東中学校、鶴住居小学校は三階まで津波が押し寄せましたが、日ごろの避難訓練や教職員の的確な誘導によって、全員が無事に避難しました。現在、中学、小学校敷地は災害がれき置き場となっており、分別、処理が行われていました。

なお、釜石東中学校の生徒の自宅は6割が津波に流され、悲惨な状況がうかがえました。中学校には備品や部活の用具は何一つ残っていない状況で、一日も早い復旧、復興が望まれると痛感しました。

さらにその先の堤防は津波により跡形もなく、またレストハウスは倒壊し、津波の凄まじさを感じました。

今回の視察では、自然災害の恐怖と日々の防災訓練の必要性を痛感しました。

総務常任委員会

総務常任委員会は、平成23年11月10日に茨城県大洗町と、つくば市のみずほの村市場を行政視察しました。

大洗町では、今回の震災での避難指示や復旧復興計画について、説明を受けました。

町では、地震による津波に対し、いち早く防災無線等により的確な避難指示を行い、死者はなく町民の生命を守ることができました。

防災無線による避難指示では、現在の津波の状況(沖合い何キロ先にある、どの位の大きさの津波かなど)を町民に的確に知らせ、一波、二波と大きくなる津波に対しては、「避難してください」から、「避難せよ」と命令口調になっています。

このような、防災無線による避難命令によって、町民は現在の状況を把握し、高台へ避難することができたと言われています。

なお、避難指示の防災無線放送については、テレビでも放映され、町の対応に対し称賛を浴びていました。

また、大洗町は地理的条件(太平洋と那珂川に面している)などから、津波に対し注意を払っており、消防本署と消防団の連携について、協議が行われていました。本署と団は、毎月定例会等で災害マニュアルの確認を行い、消防団は、火災に備えての訓練のほか、津波等に対するの担当地域、避難場所、避難経路の確認を行っているそうです。

さらに、役場内には、職員機動班という組織があります。災害にいち早く対応するために組織されました。また、町外での災害に対しても、広域災害応

援活動を実施しています。班員は10名、班長は課長級の職員で、各課より選抜された職員が基礎知識を習得するため、訓練を行っているそうです。

このように大洗町は、災害(台風、地震、津波、大雨等)に対し、机上でのマニュアルでなく、日々の関係機関等の協議などによって、災害対応への組織が構築されていると感じられました。

旭市においても、今後の災害に備えるために、これら先進的な取り組みを参考にしながら、危機意識を持った継続的な対応が望まれます。

また、つくば市では、民間の農産物直売所「みずほの村市場」を視察しました。国道に面した店舗には、平日にもかかわらず多くの人が買い物をしていました。米、野菜、花、植木などを中心に商品は豊富で、野菜の販売には工夫がされており、陳列されている野菜の脇には、野菜そのものと野菜を使った簡単な加工品が食味できるようになっていました。

なお、今回の総務常任委員会の行政視察費用は委員の自費で実施しました。市で予算化されている行政視察研修の費用弁償の総務常任委員会7名分、70万円については、委員の話し合いで災害復興費に充てるとの合意があり、3月議会での減額補正の予定です。



大洗町長、正副議長を囲んでの総務常任委員

建設経済・ 文教福祉常任委員会

建設経済常任委員会と文教福祉常任委員会合同で平成23年10月26日から28日までの3日間、岩手県盛岡市、遠野市、釜石市へ行政視察を行いました。

1日目の26日には、盛岡市の盛岡市観光文化交流センター（プラザおでつ）内にある「味の夢街道・産直夢街道」を視察しました。

盛岡市観光文化交流センターは地上6階建、会議室、観光案内所もあります。

「味の夢街道・産直夢街道」はこの施設の1階にあり、地域の特産品を食材とした料理が特色の飲食店と岩手県内の産直品を揃えたショップです。産直夢街道は観光客に対してのお土産から、一般家庭での食材まで様々な物が販売されていました。面積は、本市の「おあがんな旭」の3倍程度ですが、観光客には駅から遠いため閑散としていました。

施設を建設する場合は、立地条件等、各種の要件の重要性を感じました。

2日目の27日は、遠野市の遠野ふれあい交流センターで行われた、地方自

治経営学会主催の研究大会に参加しました。

テーマは「東日本大震災からの復興、遠野スタイルによる被災地後方支援」。北海道から沖縄まで300名の議員等が参加しました。

はじめに、「復興と自治」と題し、前総務大臣片山善博氏の講演がありました。

今回の東日本大震災の復興の取り組みで、政府は財源の確保を優先に補正予算を行うが、このような大惨事の場合は復興のための予算を優先しながら、財源の確保を考え、いかに復興を早く行うかが必要であるとの提言がありました。

次に、北海道大学教授の山口二郎氏による、「新しい政局と地方分権」では、サービスと税負担の関係では、ヨーロッパの国々のサービスを考えるなら、それなりの税の負担が必要との意見でした。

さらに、地元、本田敏秋遠野市長による、「東日本大震災と後方支援基地構想、遠野スタイルによる自治体連携」の講演がありました。

今回の震災により遠野市庁舎は倒壊の恐れがあるため、他の施設を利用している状態で、議会については支所を利用しています。遠野市は被害の大きかった釜石市、大船渡市、大槌町などと地理的条件などにより、平成20年5



釜石港で説明を受ける
建設経済・文教福祉常任委員

月26日に「三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会」を立ち上げています。各自治体間は国道、別名「命を結ぶ道路」で結ばれ、遠野市が結節点、立地条件が良い場所と捉えられています。

今回の震災でも、後方支援拠点として、地震発生後、間もなく遠野運動公園に自衛隊が集結。救急消防援助隊の基地として、また被災地に向かうボランティアの基地となりました。救援物資についても、ここで仕分し各市町へ届けました。また、仮設住宅の設置や全国からの応援自治体の基地として活躍されました。

続いて、「再生エネルギー開発先進自治体・葛巻町」と題し鈴木重雄葛巻町長の講演がありました。

葛巻町は人口が7,417人、乳牛、肉牛で11,000頭、面積434.99 km²でこのうち森林が86%、95%が標高400m以上となっています。

町では、第三セクター方式による地域の活性化に取り組んでいます。葛巻町畜産開発公社や葛巻高原食品加工、グリーンテージくずまきを設立、U・Iターン者を中心に雇用を創出し、観光客入り込み数も平成11年度の19万人から平成21年度には55万人と伸びています。また全国の自治体からの視察も昨年度300団体と非常に多くなっています。

新エネルギープロジェクトとしては、風力発電で15基を設置、総出力



津波により倒壊したレストハウス
(釜石市)

議長のうごき

平成23年9月7日以降の議長のうごき

9月

- 特別養護老人ホームやすらぎ園第30回敬老会
- 市内小中学校運動会
- 平成23年度旭市敬老大会
- 第6回あさひのまつり



いきいき旭・産業まつり2011

10月

- あさひ学友会第18回定期総会
- 平成23年9月東総地区広域市町村圏事務組合議会定例会
- 市内小学校運動会
- 干潟町中央保育園運動会
- 第73回全国都市問題会議
- あさひこひつじ幼稚園秋季運動会
- うなかみ幼稚園運動会
- 平成23年度旭市民グランドゴルフ大会開会式
- 旭市戦没者追悼式
- おたつしゃ会
- 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 第174回千葉県市議会議長会定例総会
- 第61回千葉県民体育大会卓球競技開始式
- Nature Lovers 2011
- 平成23年度第22回旭市秋のへら鮎釣り大会表彰式
- (仮称)旭市第二学校給食センター建設工事起工式
- 平成23年度海匠農業・農村活性化フォーラム
- 平成23年度千葉県北総東部四市議会正副議長会定例会・視察研修会
- (株)千葉県食肉公社畜霊祭

11月

- いきいき旭・産業まつり2011
- 剖検御協力者追悼式
- 長熊釣堀センター秋のへらブナ釣大会表彰式
- ふるさとまつり・ひかた2011
- 平成23年度旭市合同金婚式
- 平成23年度旭市商工会永年勤続優良従業員表彰式
- 全国市議会議長会第91回評議員会
- 平成23年度旭市青少年意見発表大会
- 第7回旭市生涯学習フェスティバル文化講演会
- 第61回旭市菊花大会表彰式
- 旭中央病院附属看護専門学校戴帽式
- 受賞者を称える会
- 旭市復興支援第2回旭市民体育祭
- 集団防犯パトロール出発式
- 海上産業まつり
- モスクワ少年合唱団・あさひ少年少女合唱団ジョイントコンサート
- かんぱの宿旭再オープン祝賀式典
- 第7回旭市社会福祉大会
- 第56回あさひ舞踊会

編集後記

常任委員会の構成委員が替わり、議会だより編集委員会のメンバーも替わりました。これから2年間、私ども4名が編集にあたりますので、よろしくお願いいたします。

3月議会では、東日本大震災からの復興施策が盛り込まれた、平成24年度予算が計上されます。

また一方では、防災機関等から新たな地震の可能性が示されており、心配されるころです。

「備えあれば憂いなし」と、ことわざにもありますが、市も私たちも備えを怠らず、い

ざという時の憂いを減らさなければと思っています。

(委員長・島田 和雄)

旭市議会だより編集委員会

- 委員長 島田 和雄
- 副委員長 宮澤 芳雄
- 委員 柴田 徹也
- 委員 飯嶋 正利



議会を傍聴しませんか

第1回定例会は2月29日(水)から行われています。

議会開会中は、議会を傍聴することができ、一般質問は3月7日と9日に予定しています。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、

飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子を放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継をしております。ご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384